

# 緑の相談所だより

編集・発行  
財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所

No. 99

発効日  
平成18年 4月 1日

## 講習会のご案内

### 「洋ラン植替え講習」

(お手持ちの洋ランの植替えをしてみませんか!)

とき 平成18年4月9日(日)

AM 10:00 ~ 12:00

PM 1:00 ~ 4:00 (随時実習致します)

講師 緑の相談所 相談員 佐藤 吉光

定員 50名

\* 植替えに必要な材料は実費負担となります(500円程度)

### 「土づくりとガーデニング」

(花と野菜を楽しもう)

とき 平成18年5月7日(日)

PM 1:30 ~ 3:30

講師 緑の相談所 相談員 芝山 一雄

定員 50名

場所 旭川市 緑の相談所

とき 平成18年5月21日(日)

PM 1:30 ~ 3:30

講師 緑の相談所 相談員 芝山 一雄

定員 50名

場所 永山中央公園 管理棟

### 「鉢花の植替え」

とき 平成18年4月23日(日)

PM 1:30 ~ 3:30

講師 緑の相談所 相談員 佐藤 吉光

定員 50名

### 「新緑の神楽岡公園」

(春の草花を楽しもう)

とき 平成18年5月14日(日)

PM 1:30 ~ 3:30

講師 旭川帰化植物研究会 塩田 惇 さん

定員 50名(小中学生の参加OKです)

### 「ミニ盆栽の育て方・楽しみ方」

とき 平成18年5月28日(日)

PM 1:30 ~ 3:30

講師 旭川ミニ盆栽愛好会 長谷川 八郎 さん

定員 50名

## 展示会のご案内

### 「春の草花写真展」

とき 平成18年4月15日(金) ~ 30日(日)

AM 9:00 ~ PM 5:00

### 「ミニ盆栽展」

とき 平成18年5月26日(金) ~ 28日(日)

AM 9:00 ~ PM 5:00

\* 26日(金)は準備のため観覧は午後からとなります。

協賛団体 旭川ミニ盆栽愛好会

## お申込み・お問合せ・質問など

電話(0166)65-5553 旭川市緑の相談所まで、お気軽にお電話ください。

講習会の参加料は無料です。興味のある方はお早めにお申込み下さい。

詳しくは緑の相談所 職員までお尋ね下さい。なお定員になり次第募集は締め切らせていただきます。

# パンジー

スミレ科スミレ（ビオラ）属

この属の原種は温帯を中心に約 500 種が分布し、主に多年草または1年草です。パンジーは園芸種の総称で、別名サンシキスミレ、コチョウソウと呼ばれています。1800 年代初期にイギリスなどで花径の大型化をねらってたくさん品種改良され、その数は 400 種以上といわれています。一方、近年は小輪多花性のタフテッド・パンジーと呼ばれるグループが発表され、日本では小輪パンジーまたはビオラと呼ばれ普及していますが、パンジーとの区別が難しくなっています。19 世紀後半からは、アメリカで花径 8~10 センチの大輪系の育種が進みましたが、最近では前述の小輪多花種「ビオラ」が出回り人気種になっています。



## 特 性

耐寒性があり、古くから北国旭川では春の花として公園や一般家庭に植えられ、親しまれています。土壌は PH6 前後の水はけの良いところを好み、病虫害も少なく栽培は容易です。

最近では秋から春の花壇材料として 2 シーズン楽しむこともでき、花壇の素材として楽しめるものとなっています。

## 苗つくりと管理

前号のプリムラと同様に 7 月頃に播種して、秋と翌春の 2 シーズン花を楽しむ方法と、室内で 12~1 月ころに播種して、その年の春に咲かせる栽培法があります。

日差しを好むので、よく陽の当たる所に植え、秋に花壇やプランターに定植するか、苗のまま畑や育苗箱に移植し、そのまま雪中に置いて越冬します。翌春、雪解けを待って花壇やプランターに植えて、春一番の花を楽しんでください。初夏の気温が上がるころまで楽しめます。暑さに弱いので気温が上がり、徒長気味に草姿が乱れてきます。この時期が夏花壇用草花の植え替え時です。弱った苗は宿根草として楽しめる品種もありますので日陰に植えて夏を越すのも一方法です。

## 展示室の植物たち シリーズ「7」

### アガベ・アメリカーナ (フィリリュウゼツラン)

リュウゼツラン科 リュウゼツラン (アガウェ) 属

【 温室の主のように鋭いとげの大きな葉を広げて君臨しています。 】

アメリカ大陸を中心に、世界の熱帯、亜熱帯の乾燥地に 19 属約 580 種生育しています。葉から繊維をとる種類や薬用になるものが多いが、多くは観葉植物として知られています。同じ仲間からは「テキーラ」というメキシコのお酒が作られています。

花は 60 年くらい経って咲くといわれ、その花茎は 4~5 メートルも高くなるそうです。

当温室には 1990 年頃植えられたもので花はまだまだのようですが、早く見たいですね。

# 草花をタネから育ててみませんか

最近では花壇の花は苗を購入して植えるのが一般的になりましたが、自分で種子から苗を育てて花壇をつくるのも大変おもしろいものです。今年は苗づくりから挑戦してみたいはいかがでしょうか。

困難もありますが、苗をたくさん得られますし、苦労の末に完成した花壇はまた格別です。

## 1 用 土

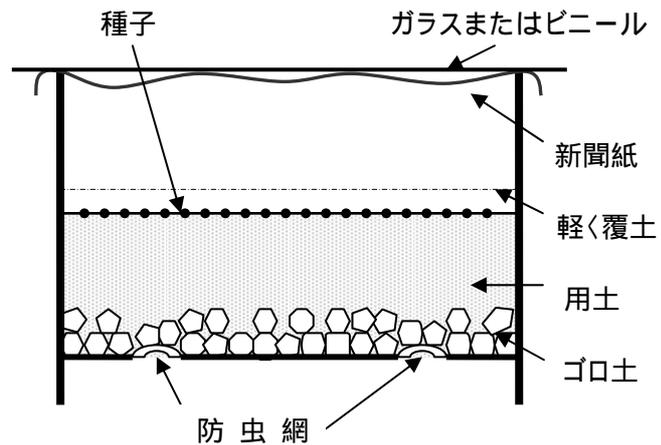
肥料分の含まない清潔な土をします。

### 配合例

赤玉土(小粒) … 4

ピートモス … 3

パーミキュライト … 3



## 2 主な草花の発芽適温

一般に生育温度よりも高いので発芽までしっかり保ってください。

温 度	草 花 名
20 ~ 25	ペチュニア・ベゴニア・サルビア・コリウス・インパチェンス・ ケイトウ・ニチニチソウ etc...
15 ~ 20	マリーゴールド・アゲラタム・アリッサム・キンギョソウ・ ダスティーミラー(白妙菊)・コスモス etc...

## 3 発 芽 後 の 管 理

- \* 温 度 ~ 日中 25 以下、夜間 15 以上にします。
- \* 水 や り ~ 用土の表面が白っぽく乾いてから与えます。
- \* 置 き 場 ~ 発芽後は窓辺で日光によく当て、モヤシ状の軟弱苗にしないように注意しましょう。
- \* 肥 料 ~ 本葉が出た後と仮植え活着後、(液肥 2,000 倍液)を 1 週間に 1 回、水やり時に与えましょう。
- \* 間引きと植替え ~ 本葉の出る前に間引き、本葉 1 ~ 3 枚位の時に移植します。(移植床は素焼き浅鉢か、パット、発砲スチロールの空箱等)
- \* 用 土 ~ 配合例(赤玉土 6:腐葉土 4)、(赤玉土 7:腐葉土 3)
- \* 定 植 ~ 第 1 花の開花を目安にして植えると良いです。

## 4月の園芸作業

### 1 鉢花類

- \* 夏花壇用のアサガオ、アスター、マリーゴールド等の草花は上旬には鉢等に種をまきましょう。
- \* アザレア、フクシャ、ハイビスカス、ブーゲンビリア等の生長にあわせて水やりの回数を多くし、肥料は置肥と液肥を併用しましょう。
- \* アザレアは根の生育が旺盛なので樹形を整える剪定をしてから根鉢を崩して絡んだ根を3分の1程切り、植え込みましょう。
- \* クジャクサボテンの花が終わった株やこれから咲く株にも水と肥料を十分に与え、茎の上部から伸び始めた新芽は摘み取りましょう。
- \* シャコバサボテンは先端の茎を2~3節摘んで全体の樹形を整え、摘んだ茎節は挿し木しましょう。
- \* カランコエの花が終わった株は5~6cmの長さに切って挿し木しましょう。
- \* クラッスラ(通称:金のなる木)は、日当たりの良い場所で水やりし、1000~1500倍に薄めた液肥を週1回与えましょう。
- \* シクラメンの花が終わっても15日以下の涼しいところで、葉を落とさないように水やりと施肥を忘れずに管理しましょう。
- \* サボテン類は日の当たる窓辺に置き、水と肥料を与えましょう。

### 2 洋ラン類

- \* カトレア、コチョウラン、デンドロビウム、オンシジウム、マスデバリア等の着生種は植替え直後の株に水を与えません。霧吹きだけで3週間程養生させ、根の痛みの回復と発根を促しましょう。また、シンビジウム・パフィオペディルム等の地生種は植替え直後にたっぷりと水を与え、その後は養生させましょう。
- \* 植替えた鉢は根が傷ついていて回復まで肥料を吸収出来ないので1月半程肥料を与えない。
- \* 植替え鉢はウイルス病等の予防のため、出来るだけ古い鉢を使わないようにしましょう。
- \* サギソウ等の球根を植付ける前に殺菌剤で消毒しましょう。

## 5月の園芸作業

### 1 草花・球根・鉢花類

- \* 地面が乾いたら早速、有機質(堆肥、腐葉土、ピートモス等)を1㎡当たり5~6㍓、石灰を1㎡当たり100㍓、散布して耕しましょう。
- \* 雪融けとともに芽を出すプリムラ、ガウラ、シバザクラ等の宿根草や球根類には、なるべく早く油粕と化成肥料を与えましょう。
- \* 5月下旬には整地した花壇にオシロイバナ、カスミソウ、キンセンカ、ジニア等多くの1年草花の直まきの時期です。
- \* グラジオラス、ダリア、リアトリス、カンナ等の球根を花壇やプランターに植えましょう。
- \* 室内にあったアマリリス、ロドヒポキシス等の花が終わったものや咲かないものも日当たりの良い場所で育てましょう。
- \* クロッカス、チューリップ、スイセン等は花を楽しんだ後、地下の球根が来年立派な花を咲かせるために花がらを摘みましょう。なお、切花にする時には葉を1枚残して切りましょう。
- \* クジャクサボテン、シャコバサボテン、アロエ、クラッスラ等の多肉植物やサボテン類は戸外の日当たりの良い場所で水やりや肥料を与えましょう。(急に戸外に出さず慣らしてから)

### 2 洋ラン類

- \* 植替えの必要な鉢は急いで植替えましょう。
- \* 新芽や根が伸びている株は1000~2000倍の液肥を月3回程与え、水やりは3日に1回たっぷりと与えましょう。
- \* 戸外の栽培管理は夜間の最低温度が13~15℃に安定してから出しましょう。
- \* シンビジウム、デンドロビウム、マスデバリア等は中旬過ぎから晴天の日の午前11時~午後2時頃まで戸外に出し、日光に当て、置き肥を始めます。なお、徐々に日光に慣らすために遮光(50%)ネットをしましょう。
- \* 水やりにはまだ冷たいので水道水を直接与えず、1日汲み置きしたものを与えましょう。